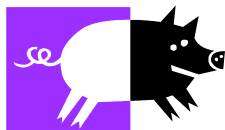


炭疽



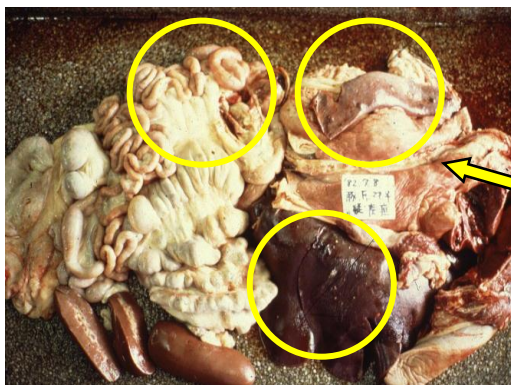
～炭疽とは～

炭疽は、炭疽菌の感染によって起こる伝染病で、牛、馬、豚や羊などのほか、ヒトにも感染する人獣共通感染症です。

その原因となる炭疽菌は、熱・乾燥・消毒剤に強い殻を持つ“芽胞”となって長年月にわたり土壌を汚染します。この芽胞が、からだの傷口や口・鼻から体内に入って感染します。

～食肉検査では～

炭疽と診断された場合、
とさつ・解体禁止または全部廃棄となります。



豚の腸炭疽

腸壁の肥厚、リンパ節の出血、脾臓の出血梗塞巣様結節などみられます。

対策

本病の感染が疑われる家畜が発生した時は、ただちに家畜保健衛生所に届け出てください。速やかな届出が最も重要です。

北海道網走家畜保健衛生所 TEL 0157-36-0725 FAX 0157-36-5801

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

北海道東藻琴食肉衛生検査所 TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

E-Mail : abashiriho.higashi1@pref.hokkaido.lg.jp

(迷惑メール防止のため「@」を全角にしています。メールを送る際は、半角に置き換えてください)

症状

牛や馬 は感受性が強く、敗血症でほとんど 24 時間以内に急死します。肛門や鼻腔・口腔などの天然孔から凝固不全の暗赤色タール様の出血がみられることが特徴です。

豚 は比較的抵抗性が高いので、目立った症状がないまま と畜場で発見されることが多いようです。

ヒト はほとんどが、感染動物の毛や皮に触れたとき皮膚の切り傷・擦り傷から炭疽菌が侵入する“皮膚炭疽”で、かゆみのない潰瘍ができます。

炭疽菌を吸入して感染すると“肺炭疽”になり、はじめは風邪のような症状ですが数日後に呼吸障害・ショック症状に陥り**致死率は 100%**といわれます。

また、汚染された肉を食べて消化管に炎症が起こる“腸炭疽”もあります。

